

公益財団法人 石川県国際交流協会 様



Wi-Fi 6(11ax)対応のWi-Fi機器を導入し
高速・大容量通信可能な環境を構築

目的・課題	業種	導入商品
商品・サービス 品質向上	官公庁/自治体	Wi-Fi (無線LAN)

通信品質向上を目的にWi-Fi 6(11ax)対応モデルでWi-Fi環境を再構築。
大人数での同時利用を可能にし、研修での動画コンテンツ利用が可能に



導入先プロフィール (2023年11月現在)

組織名 公益財団法人 石川県国際交流協会
 施設名 石川県国際交流センター
 所在地 〒920-0853
 石川県金沢市本町1丁目5番3号リファール3階・4階
 URL <https://www.ifie.or.jp/>

公益財団法人 石川県国際交流協会は、石川県における国際交流推進の中核的組織として、石川県の豊かな自然と伝統文化を活かし、ホームステイをしながら、短期集中で日本語と日本文化を学習・体験する日本文化研修は同協会の特色です。その活動拠点となる石川県国際交流センターではクラウド上の教材を利用する際などでの通信遅延が課題となっていました。研修に写真・動画や音声を活用できるよう、最大90人収容可能な研修室など全19室のWi-Fi環境再整備を決断。法人向けWi-Fi 6(11ax)アクセスポイントを導入し、多台数同時接続時にもストレスなく研修できるWi-Fi環境を構築しました。

課題

円滑な研修実施のため
安定したWi-Fi環境が必要

- 外国人研修生の増加 ▶ 多台数接続可能な環境が必要
- 動画利用のわかりやすい研修 ▶ 遅延しない通信を提供したい

対策

多台数接続時でも高速通信が可能な「WAPM-AX8R」で
大人数が同時に利用できるWi-Fi環境を構築

効果

ICTを活用した研修が
実施できる環境を実現

- 多台数同時接続が可能に ▶ 約60人の研修で端末利用可能
- 通信速度が最大500Mbps ▶ 海外とのオンライン授業が可能

選定の ポイント

低遅延で安定・高速な通信を提供する「WAPM-AX8R」なら
多台数同時接続が可能で快適な研修環境を実現できる

お客様インタビュー

公益財団法人 石川県国際交流協会
日本語専任講師

今井 武氏(左)

公益財団法人 石川県国際交流協会
事務長

叶田 英幸氏(右)



通信速度が5~30Mbpsから400~500Mbpsに大きく向上。 多台数同時接続が可能になり、約60人の研修でも端末利用できる環境に

概要

- 施設内のWi-Fi環境を再整備
- 快適なタブレット利用が可能に

高速・大容量通信規格のWi-Fi機器で環境整備

日本語と日本文化の研修・体験を行う石川県国際交流協会は、10年ほど前にWi-Fi環境を構築。近年では研修生がタブレットなどの端末を使用する機会が多くなり、接続台数も増加したため通信不良が頻発。高速・大容量通信規格「Wi-Fi 6(11ax)」対応のWi-Fi機器でWi-Fi環境を再構築しました。

通信インフラの整備で動画・音声の視聴が快適に

快適なWi-Fi環境を構築したことで、ストレスなく教材ダウンロードや動画・音声の視聴が可能になりました。今後見込まれる外国人研修生の増加にも十分に対応できます。日本語・日本文化を学ぶ意欲を持つ多くの研修生にとって、学びを充実させるために不可欠な通信インフラとしてさまざまな活用に期待が寄せられています。

目標・課題

- オンラインを活用した学習の需要拡大
- 動画や音声データの快適な視聴

複数台同時接続の増加で通信遅延が頻発

以前は授業中にネットワーク接続するのは講師だけでしたが、学習形態の変化により研修生のタブレットからの接続が急増。複数の国から受け入れをするため、同じ授業内容でも異なる言語での教材が存在し、おのおのが教材をダウンロードします。研修生が用意した写真をオンラインで見ながら講師と情報交換することも増え、通信不良が発生すると授業の中断を余儀なくされていました。

アフターコロナを見据えたWi-Fi環境整備を

語学学習の中心が読み書きから、日常生活や会社での会話へ移っており、教材としてクラウド上の動画や音声の使用頻度が増加。通信の速度や安定性が求められることに。公益財団法人 石川県国際交流協会 事務長 叶田 英幸氏は「コロナ禍は外国人研修生を受け入れられませんでした。令和5年度から段階的に再開を決定。多台数同時接続時の安定した通信環境の整備は必須でした。」と話します。

解決策

- 高速で安定性の高いWi-Fi機器
- 迅速な障害対応が可能な体制づくり

多台数端末の同時接続を想定した機器選定

年間約380人の研修生受け入れ実績があり、ピーク時には約60人が一斉に受講するため、公平通信制御機能搭載で、通信のバラつきが発生しにくいWi-Fi 6(11ax)対応の「WAPM-AX8R」を設置しました。

Wi-Fi機器を遠隔で一括管理

機器の初期設定は北陸通信ネットワーク株式会社 営業部 鳥毛 聡太氏が担当し、「ホームページ上のマニュアルや設定事例集に沿って簡単に設定できました。」と話します。また、機器管理も同社が「WLS-ADT」を用いて遠隔で一括管理しており、万一の不具合にも迅速に対応できます。



天井に設置されたWi-Fi 6(11ax)対応のWi-Fi機器「WAPM-AX8R」

効果

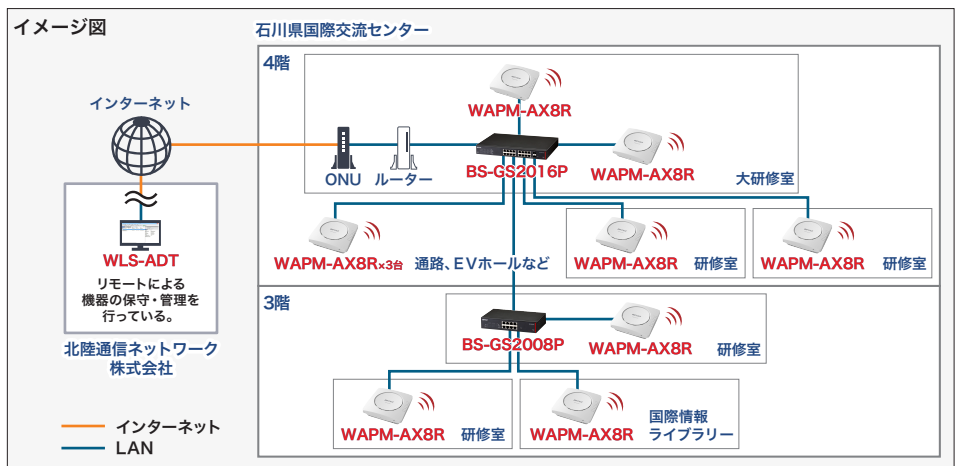
- 通信速度が400~500Mbpsに向上
- 国内外を結ぶ通信環境を実現

通信環境整備で充実した学びの機会を創出

Wi-Fi環境の再構築で、通信速度は5~30Mbpsから400~500Mbpsに向上。日本文化研修では臨場感あふれる動画を用意し、実体験前の予習として視聴できるようにしています。また、研修生が母国の家族とのビデオ通話などに使用する通信インフラにもなっています。

ICT基盤の強化により広がる研修の可能性

同協会にはオーストラリアの小・中学校の日本語教師も研修に訪れます。外国人の日本語教師が自ら石川県で見聞きた情報を、日本からリアルタイムで母国の生徒にオンライン授業することも可能になりました。公益財団法人 石川県国際交流協会 日本語専任講師今井 武氏は「日本語教室が少ない地域のため、日本語を勉強する機会が持てない外国人住民へ向けて、協会の授業をオンラインでも受講可能にしたいと考えています。」と話します。



2フロアに分かれる石川県国際交流センターの各所に「WAPM-AX8R」を設置。以前は研修室に限られていた通信範囲を研修室外のフリースペースなどにも広げ、いつでも自主学习ができる環境を整備。集中管理ソフトウェア「WLS-ADT」で北陸通信ネットワーク株式会社が機器を遠隔管理。

●取材協力:北陸通信ネットワーク株式会社

導入商品



5年保証※
11ax/ac/n/a & 11ax/n/g/b
法人向け
Wi-Fi 6アクセスポイント

WAPM-AX8R



5年保証※
PoEスマートスイッチ
IEEE 802.3at対応

BS-GS20P
シリーズ

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長